科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
解剖学Ⅰ	１年次　前期	必修	講義	１単位（３０時間）	渡辺　しき子

授　業　概　要

日々営まれる日常生活行動の視点からからだの構造と機能を学習する。人間はどのようなからだの構造と機能（仕組み）を使って生きているのか、日常生活行動を営んでいるのかを理解する。解剖学Ⅰでは日常生活行動のうち、活動、食事、呼吸、排泄、睡眠、清潔について、また、身体の恒常性を維持するための物質の流通について学ぶ。人体の構造と機能の理解は、病態の理解や日常生活行動を援助する看護技術の理解の土台になる。

解剖学と生理学は切り離せない関係にある。「生理学Ⅰ・Ⅱ」の学習内容と合わせて学習することでより人体の構造と機能の理解が深まる。

到　達　目　標

１．どのようなからだの仕組みを使って日常生活行動(活動、食事、呼吸、排泄、睡眠、清潔)を行っているのかを説明する。
２．身体の恒常性を維持するための物質の流通について説明する。

回	学　習　内　容	担当教員
1,2	１．動く １）姿勢と日常生活での基本的な動き ２）神経から筋への指令と筋の収縮 ３）意図的な運動、意図的でない運動 ４）骨格・骨格筋・関節	渡辺　しき子
3,4	２．息をする １）息を吸う・息を吐く　　２）ガス交換	
5,6	３．何のための生活行動か １）生きているとはどういうことか ２）内部環境の恒常性 ３）生命維持と生活行動	
7,8	４．恒常性を維持するための物質の流通 １）流通の媒体・・血液 ２）流通路・・・血管・リンパ管 ３）流通の原動力・・・循環	
9,10	５．食べる １）食欲　　２）食行動、咀嚼・嚥下　　３）消化・吸収	
11,12	６．トイレに行く(排泄) １）排尿、体液量の調節　　２）排便	
13	８．眠る	
14	９．お風呂に入る	
15	１）垢を落とす、皮膚と附属物　　２）皮膚と粘膜 ３）温まる	

学　習　方　法

講義、課題学習、グループワーク
予習・復習を行い、自分の身体を意識しながら学ぶ。

評　価　方　法

〔評価方法〕
中間テスト、科目修了試験、課題学習　　＊詳細は講義の最初に提示する。

先　修　科　目

なし

教科書、参考書

〔教科書〕
看護 形態機能学　生活行動からみるからだ　　菱沼　典子　　日本看護協会出版会